

放射線科

(画像診断・治療・核医学)

1) 研修スケジュール

- 画像診断教室推奨コース：画像診断を1か月(核医学3日含む) または
画像診断を2か月以上(核医学と治療で1週間含む)
- 放射線治療教室推奨コース：画像診断1週、治療2週、核医学1週
- 核医学教室推奨コース：画像診断2週、治療1週、核医学1週(2か月なら×2)
教室のためではなく全ての初期研修医のためにベストバランスを推奨します。
- 自由選択コース：希望に合わせて複数の分野を研修できます。(1分野のみは不可)

2) 到達目標

研修医到達目標(画像診断)		研修前	研修終了時
1.	緊急性の高い疾患の異常所見を指摘できる。		
2.	Common diseaseの画像診断ができる。		
研修医到達目標(治療)		研修前	研修終了時
1.	悪性腫瘍の治療方針を集学的(手術・放射線・薬物・緩和)に立案できる。		
2.	放射線治療計画を作成し、実施できる。		
研修医到達目標(核医学)		研修前	研修終了時
1.	核医学検査の適応を理解し、他の検査とうまく使い分ける。		
2.	RI内用療法の重要性を理解し、集学的治療に組み込める。		

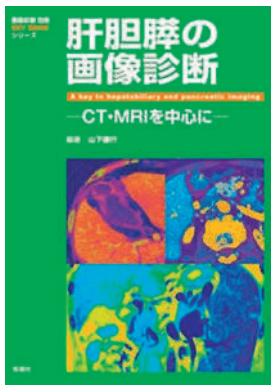
a=十分できる b=できる c=要努力(3段階評価) / ?=評価不能

3) 経験できる疾患や手技

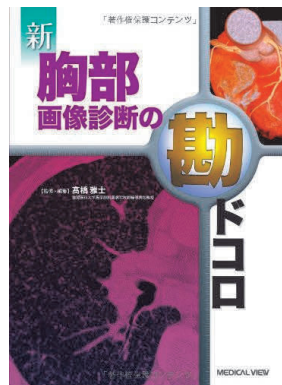
	経験できる疾患	経験できる手技
画像診断	全身領域(救急を含む)の画像診断を経験することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・中心静脈カテーテル留置 ・Interventional radiology手技全般
治療	根治治療から緩和治療まで、また臓器を問わず、全身の悪性腫瘍の放射線治療を経験できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・外照射(治療計画立案と実施) ・小線源治療(前立腺癌の組織内照射)
核医学	悪性腫瘍全般、脳血管障害、脳変性疾患、認知症、骨粗鬆症、肺循環障害、腎疾患、甲状腺疾患、感染症、小児痙攣性疾患等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種シンチ・SPECT検査の実施と読影 ・FDG-PET検査の実施と読影 ・RI内用療法 ・骨粗鬆症診療

放射線科 (画像診断・治療・核医学)

4) 推薦書籍



難易度 ★★
コメント
KEY BOOKシリーズは画像診断の教科書としてとても人気。初学者から専門医まで使えます。



難易度 ★★
コメント
病態・病理から非常にわかりやすく、詳しく書かれた一冊です。胸部画像診断には必須な一冊！



難易度 ★★
コメント
放射線治療の理論、基礎から臨床、最新の治療法まで。とりあえずの1冊として必要十分な内容です。



難易度 ★
コメント
限られた期間内に効果的に核医学を学ぶ初期研修医にピッタリなコンパクトな一冊です。

5) 事前アンケート

1. 将来、放射線科 (画像診断、放射線治療、核医学) を専門に選ぶ可能性はありますか？

はい いいえ (希望する診療科名 _____)

2. どちらの放射線科研修コースを希望しますか？

- 画像診断教室推奨コース：画像診断を1か月 (核医学3日含む) または画像診断を2か月以上 (核医学と治療で1週間含む)
- 放射線治療教室推奨コース：画像診断1週、治療2週、核医学1週
- 核医学教室推奨コース：画像診断2週、治療1週、核医学1週 (2か月なら×2)
- 自由選択コース：希望する配分を下記に記載してください。(1分野のみは不可)

(自由選択コースのみ) 1か月を4週と考えて2分野または3分野に振り分けてください。

画像診断 () 週、治療 () 週、核医学 () 週

3. 興味のある領域、分野を教えてください。

(例 肝・胆・膵領域、カテーテル治療、前立腺治療、PET/CTなど)

6) 自由記載欄 (研修について要望などがあれば記載してください。)

J1, J2 氏名 _____